

財政学Ⅰ

科目ナンバリング PFP-201
選択必修 2単位

其田 茂樹

1. 授業の概要(ねらい)

日本政府は借金で破綻する。日本は税金が高い。このような表現はすべて財政にまつわるものである。これらについて、みなさんはどう考えるだろうか。そのように考えた根拠はどこにあるのだろうか。そもそも財政とは何を指すのか、税金とはどのような金か、なぜ政府も借金をするのかなどに触れながら財政についての基礎的な理解を深め、財政について身近な問題として捉えていく。

2. 授業の到達目標

1. 財政に関する報道等への関心を従来より高める。
2. 財政の基礎的な用語や制度について理解する。
3. 財政について自身の考え方を根拠をもってまとめられるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験: 80%、小テスト(予告なく抜き打ちで実施する): 20%により評価する。
詳細は、第1回目の授業において説明する。

4. 教科書・参考文献

教科書

佐藤進・関口浩 著 (新版)財政学入門 同文館出版

参考文献

池上岳彦 編 現代財政を学ぶ 有斐閣

佐々木伯朗 編 財政学 制度と組織を学ぶ 有斐閣

5. 準備学修の内容

新聞などの報道等によりもたらされる財政に関する情報に関心を持つ。
教科書・参考文献を含めて各回の授業に関係する文献に目を通す。

6. その他履修上の注意事項

財政学Ⅱと併せて受講されることを希望する。
受講マナーの悪い学生には退席を求め、以降の受講をお断りすることがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 財政と財政民主主義
- 【第3回】 現代財政学の生成と展開
- 【第4回】 予算と予算原則
- 【第5回】 日本の予算・決算制度
- 【第6回】 予算改革の方向性
- 【第7回】 市場の失敗と政府の失敗
- 【第8回】 経費膨張と経費の性質
- 【第9回】 経費の区分と日本の経費構造
- 【第10回】 租税論の基礎
- 【第11回】 個人と家計の税金
- 【第12回】 会社と企業の税金
- 【第13回】 一般消費税と個別消費税
- 【第14回】 前期の総復習とディスカッション
- 【第15回】 試験とまとめ